

古典に学ぼう

高野切第一種

高橋 香樹

「古典に学ぼう」では、「蘭亭序」・「雁塔聖教序」と漢字の課題を取り上げましたが、今月号よりかな書の代表作「高野切第一種」を学んでいきます。

「高野切」は、古くから紀貫之の筆になるといわれてきましたが、現在では紀貫之の筆ではないというのが定説となっています。「高

野切」は、古今和歌集を書写したもので、この一部の第九巻が高野山に伝来したことにより「高野切」といわれています。「切」とは

「断片」ということで、始めは二十巻あったものが今では、巻一、二、三、五、八、一八、一九、二〇のみが残っています。

「高野切」は、筆跡の違いから

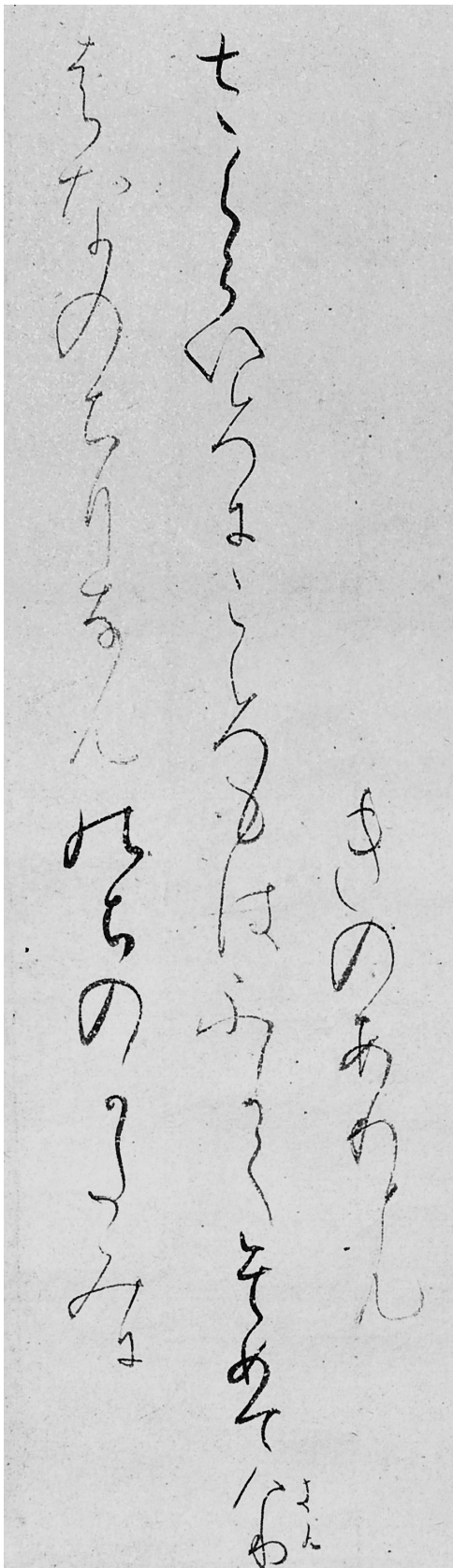
一種、二種、三種にわかれています。今回は「高野切第一種」を勉強します。

「高野切第一種」は、字の大小、墨継ぎ、濃淡、太細が妙を極め、最も変化に富んでいます。おおかで線は繊細ですが、力充ちて、ゆるみなく、一筆で多いものは二十余字続けて書き、墨がなくなる

のを待って継ぐという風です。

最初は少し拡大して習い、段々と小さく字数をふやして書くようにしたいと思います。「高野切第一種」のかの美しさを存分に味わって下さい。

高野切第一種 (二玄社)



さくらいろにころもはふかくそめてけりはなのちりなんのちのかたみに (作者・紀有朋)

高野切第一種

校名

○○○○臨



〈学び方〉

さ 一画目起筆では鋒先で軽く入筆し、中程で少し力を加え、後筆を引き上げる。二画目△部での曲がりでは少し押し、後引き上げ次画へ意連。

く 入筆後軽くゆらす。これは「く」の元の字が「久」で、その草書からいまの「く」に変化したもの。「ら」に連綿。

いら 「く」から同じ筆圧で。やや直線的な動きか。「ら」からの連綿は鋒先による。連綿は曲線的だが、連綿以外は直線的動き。「くら」と字幅を狭くしているが、「い」で横に大きく振っている。

る 「い」からの連綿。△部では筆を返すように運筆。この返して筆線が締まる。

〔出品〕 高校生、中学生（一般部に編入した人も出品可）

〔形式〕 半紙たて一行書き

バーコード左下の空欄に「古典」と記入

〔出品料〕 二一〇円

〔発表〕 学生書苑七月号

第一回学生書苑指導者の会に参加して 石島柏美

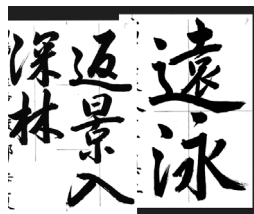
二月十七日、はじめての「学生書苑指導者の会」に出席いたしました。現在学生を指導されている支部長先生と、これから学生の指導を志している方あわせて二十五名の参加がありました。

鈴木静村会長、高橋香樹主幹のご挨拶で始まり、指導法について石田愁華先生、落合江華先生、福田香陽先生、落合江華先生、福田香陽先生の三支部長より報告がありました。



中央 石田愁華先生、福田香陽先生

た。大勢の学生達への行き届いた熱心な指導法をうかがい、自分に足りない点が解り参考になりました。香樹主幹所有の拓本、写経、貴重な書の数々が飾られ鑑賞することができました。書の手本を担ぎ、大変勉強になった一日でした。



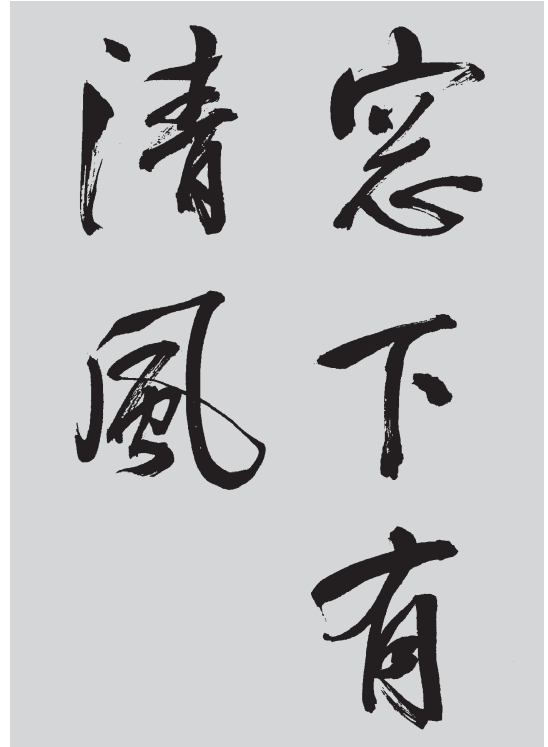
落合江華先生のお手本見本



高橋香凌先生

高橋香凌先生のお話は、子供達の優秀作品を見て納得いたしました。鈴木会長のお話の「電柱のようにまっすぐ筆を立てて持つ」という用筆法は自分の教室の子供達に早速教え、活用しております。最後は平岡不二子先生のご挨拶で終了となりました。高橋香樹主幹所有の拓本、写経、貴重な書の数々が飾られ鑑賞することができました。書の手本を担ぎ、大変勉強になった一日でした。教室運営についての工夫や悩みなど他の支部からのお話をさらけ出すのが、今後の活動に繋がります。高橋香凌先生のお話を伺ったので、今後又このような場を開いて頂き、交流を深めて学生達の書の向上に尽くしてまいります。

高校漢字(行) 高塚竹堂先生書



学校名

段級

氏名

窓下清風有り（白居易）

中学漢字(楷) 高橋香樹主幹書



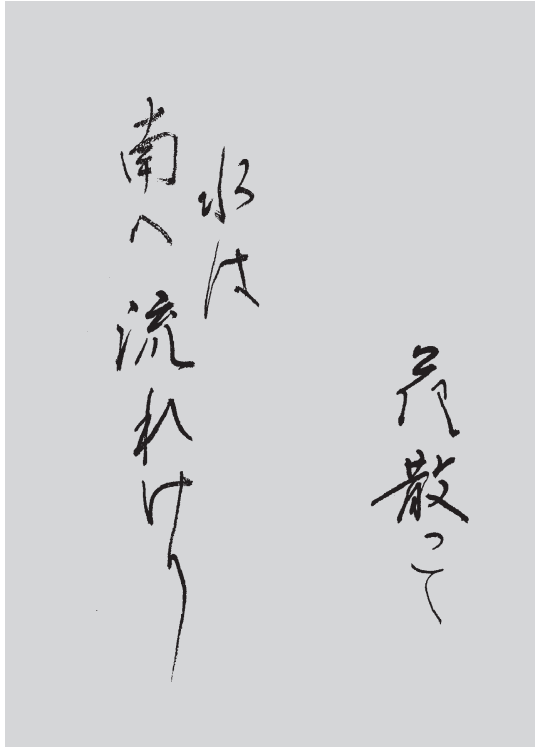
学校名

段級

氏名

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

高校かな 石原春香先生書



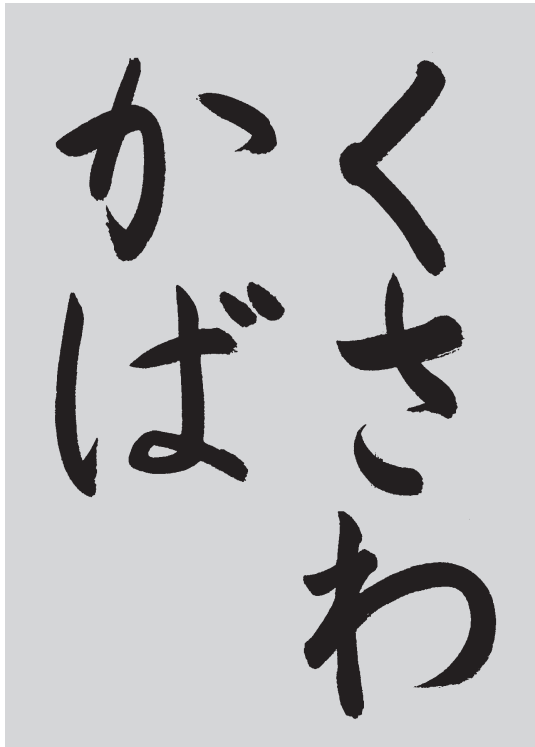
学校名

段級

氏名

花散って水は南へ流れけり（子規）

中学かな 石島柏美先生書



学校名

段級

氏名

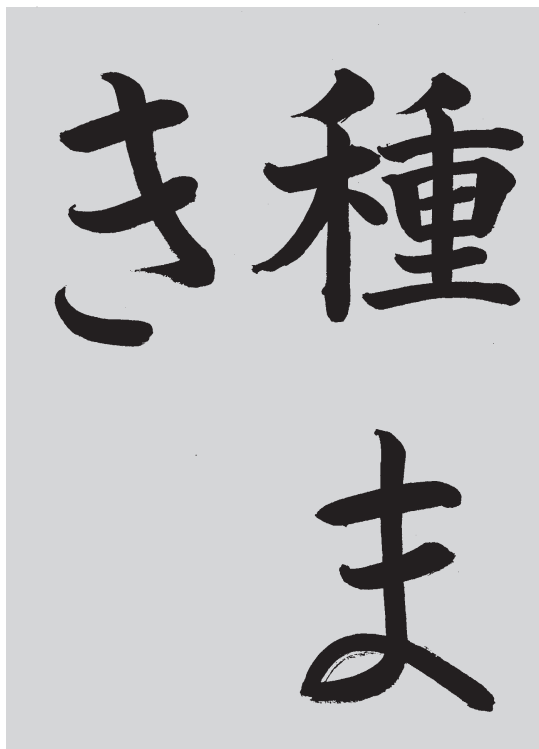
注意 1. 会員外の出品料は1作品につき231円。

小学五年 斎藤瑛香先生書

学校名

段級

氏名



小学六年 斎藤瑛香先生書

学校名

段級

氏名



小学三年 梅林寺爽葉先生書

学校名

段級

氏名

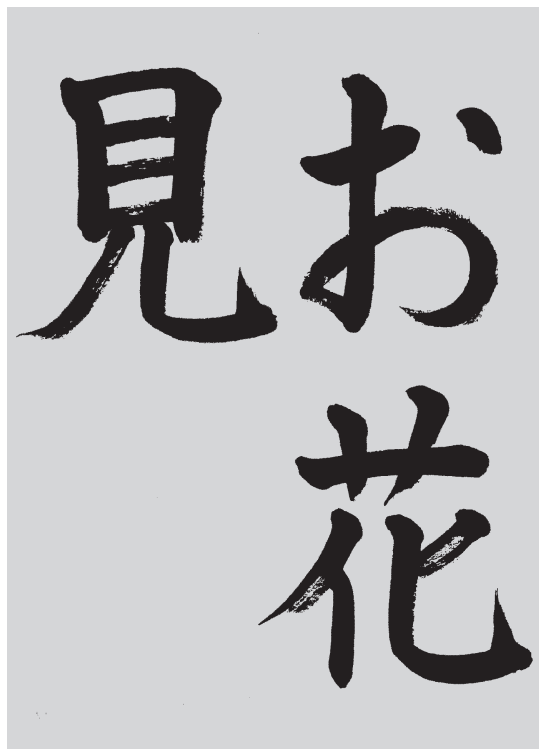


小学四年 梅林寺爽葉先生書

学校名

段級

氏名



注意 1. 会員外の出品料は1作品につき231円。

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

高橋香凌先生書

小学二年 高橋香樹主幹書



学校名

段級

氏名

小学一年 高橋香樹主幹書



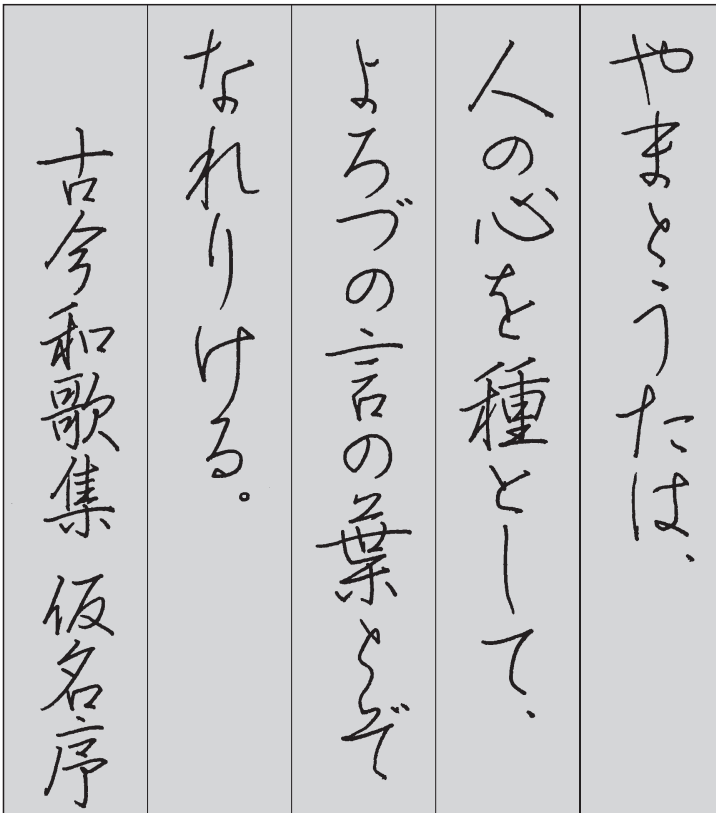
学校名

段級

氏名

※ 高校・中学はペン又は万年筆、色は黒で書いて下さい。
(鉛筆・青インクは不可)

高校・中学



筆順（行書）

ノ イ イ 付 付 佳 佳 集 集 集 集

（紀貫之）

注意 会員外の出品料は1作品につき231円。

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

小学六年

筆順	米	田
、	や	畑
、	野	を
、	菜	た
、	を	が
、	作	や
、	る	し

小学五年

筆順	を	日
一	調	本
十	べ	各
十	ま	地
十	と	の
十	め	方
十	る	言

小学四年

筆順	こ	大
、	い	空
、	の	に
、	ぼ	高
、	り	く
、	た	泳
、	ち	ぐ

小学三年

筆順	元
ノ	気
、	に
、	歩
、	こ
、	う

小学二年

筆順	あ
一	た
十	ら
十	し
十	い
十	本

小学一年

筆順	せ
一	き
二	に
ニ	す
キ	わ
キ	る

※小学生は鉛筆(2B〜4B)で書いて下さい。
 ※消しゴムを使用せずに書いたものを提出して下さい。

学生部 春季 昇級試験

毛筆部

▼締切 四月二十二日（必着）
▼発表表 六月号誌上

■昇試課題（三月号P6、P8掲載手本）

学年	課題
高校	妙言無古今
漢字	
高校	はなざかり
かな	
中学	輝く太陽
漢字	
中学	れんげそう
かな	
六年	豊かな緑
五年	鳥の声
四年	大空
三年	南
二年	みせ
一年	こえ

■用紙 半紙「たて書」
■受験料 高中生 各一、〇五〇円
小学生 八四〇円

※毛筆部現「最優秀」は受験できません。

硬筆部

▼締切 五月二十二日（必着）
▼発表表 七月号誌上

■昇試課題（本誌P4、P5掲載手本）

学年	課題
高校	やまとうたは、 人の心を種として、 よろづの言の葉とぞ なれりける。
中学	古今和歌集 仮名序
六年	田畑をたがやし 米や野菜を作る
学年	課題
五年	日本各地の方言 を調べまとめる
四年	大空に高く泳ぐ こいのぼりたち
三年	元気に歩こう
二年	あたらしい本
一年	せきにすわる

■用紙 専用の硬筆用紙
■受験料 一律 四七三円

※硬筆部現「最高」は受験できません。

〈申込み・出品方法〉

- 1 作品に申込書を添えて出品して下さい。
- 2 封筒の表に「学生昇試作品在中」と赤字で記入しお送り下さい。
- 3 パーコード券の「毛」または「硬」、「昇試」、学年（中、高は「漢」・「か」）に○をつけ、現級（毛筆部は4月号、硬筆部は5月号に掲載の段級）を記入し作品の左下に添付して下さい。
- 4 学年別にして段級の順序に整理の上お送り下さい。

〈受験料の送金方法〉

- ①郵便振替 ②現金書留 ③作品と一緒に持参

※なるべく郵便振替でお願いします。
申込書の送金方法の欄のいずれかに○をつけて下さい。
現金の場合のみ領収書をお送りします。

会員外は受験料のほかに会員外出品料を1作品につき三三二円加算して下さい。